

みんなで心を一つに頑張った 第37回幼児音体フェスティバル(沖縄大会)



11月3日(金)には、多くの保護者の方々の協力を得ながら無事、第37回幼児音体フェスティバル沖縄大会を終える事が出来たことに感謝申し上げます。

当日は、一人一人がこれまでの練習の成果を発揮し大きな会場にも負けない素晴らしい演技を見せてくれたことに、職員一同多くの感動をいただきました。子ども達も会場いっぱい響き渡る大きな拍手にやりきった充実感や満足感から自信に満ち溢れ、「もっとやりたい」「またでたい」と沢山の声がかれました。

松田保育園と言ったら、「獅子舞に和太鼓!!」と言われる程、欠かせないものです。音体教育を通して、幼児教育の心と体(脳とからだ)を最も機能的に発達させ、芸術的感覚や身体的運動感覚を日々の生活や練習によって高め、子どもの持っている無限の可能性を引き出すことを目的としています。

「今日やったから明日すぐにできるようになる」という事はありません。そこは、保護者の方々が子どもの姿を身近で見ていた分、良くわかると思います。日々の練習と遊びを通して半年間かけて一人一人が輝く素晴らしい演技ができたと思います。

それもひとえに、保護者の方々の励ましや見守りがあったからだと感じています。

本当にありがとうございました。

※今月18日(土)には、JA宜野座支店にてJA祭りがあります。応援よろしくお願ひします。

平成29年11月6日(月)松田保育園 園長久高ケイ子 発行者 前田